

# 季報33

本法人の広報誌を国見の自然あふれる四季とともにお届けします



第1回 東北文化学園大学・宮城県東松島市  
連携プラットフォーム・シンポジウムの様子

※本誌掲載の写真については、感染症対策のため撮影時のみマスクを外しています。

## contents

- P 1 表紙
- P 2 東北文化学園大学入学式  
東北文化学園専門学校入学式
- P 3 連携プラットフォーム・シンポジウム開催
- P 4 まなびのコラム（視覚機能学専攻）  
「虫が飛んで見えませんか？」
- P 4 まなびのコラム（現代社会学科）  
「ナッジでアクティブライフを可能に」
- P 5 フェンシング部  
「理学療法学専攻とメディカルチェック」
- P 5 剣道部「3年目を迎えて」
- P 6 専門学校NEWS
- P 7 友愛幼稚園「天文台見学に行ってきました」
- P 7 久慈幼稚園「楽しい時間を一緒に」
- P 7 寄附芳名一覧（2022 年度）
- P 8 研究紹介（現代社会学科 田中 茜助教）  
「女性就業と家族の中の役割分担について」
- P 8 ご寄附のお願い

季報 33 号では、東北文化学園大学と東北文化学園専門学校  
の入学式の様子と、本学と東松島市が協力して開催した連携プラットフォーム・シンポジウムについてお伝え  
します。まなびのコラムでは、重大な目の病気の前兆「飛蚊  
症」についての解説と、みなさんの運動不足解消に役立つ手  
法「ナッジ」について紹介しています。





大学

専門

## 東北文化学園大学、東北文化学園専門学校で入学式を開催

2023年4月、東北文化学園大学と東北文化学園専門学校の入学式を挙行了しました。国見キャンパスでは大学、専門学校の学生が学びを開始しています。新たな環境で、友人とともに知識と技術を修得し「輝ける者」（自立した力を持ち、他者とかかわり合いながら未経験の問題に応える人）として、大きく飛躍して欲しいと教職員一同期待しています。



2023年度  
東北文化学園専門学校 入学式



2023  
東北文化学園専門学校  
入学式

日時 令和五年四月六日（木）  
会場





学長補佐・経営法学部・大学院健康社会システム研究科  
教授 加藤 由美



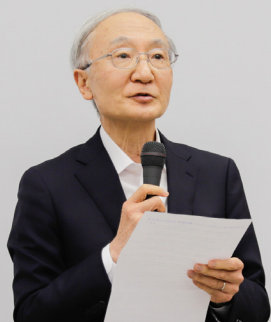
宮城県東松島市保健福祉部高齢障害支援課包括ケア推進係長 石垣 亨氏



医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻  
教授 香山 明美



北原グループ 株式会社  
kitahara Medical Strategies International  
代表取締役/ソーシャルワーカー 石橋 千賀氏



東北文化学園大学  
学長 加賀谷 豊



東松島市  
副市長 小山 修氏

## 大学

### 第1回 東北文化学園大学・宮城県東松島市 連携プラットフォーム・シンポジウムを開催

2023年5月、第1回東北文化学園大学・宮城県東松島市連携プラットフォーム・シンポジウム（共催：一般社団法人日本医療・病院管理学会第415回例会）を開催し、多数の方にご参加いただきました。

今回のシンポジウムは、本学と宮城県東松島市の包括連携協定に基づく「連携プラットフォーム」で展開中の研究・教育活動等の事例を基に「地域医療介護マネジメント」で大学が担い得る役割を示すことを目的に開催しました。

最初に、シンポジウムの座長を務める本学学長補佐の加藤由美教授が、開会の挨拶と連携プラットフォームの経緯や活動実績等について紹介しました。

次に、宮城県東松島市保健福祉部高齢障害支援課包括ケア推進係長の石垣亨氏が「地域包括ケアシステムから地域共生社会の実現へ」をテーマに、東松島市における地域包括ケアシステム構築の実績と今後の方向性と、地域共生社会の実現に向けた事例についてもご紹介いただきました。

また、本学医療福祉学部作業療法学専攻の香山明美教授からは「認知症関連事業における東松島市と本学との連携

状況と課題」をテーマに、これまで実施した認知症関連事業について報告し、「認知症カフェ」や「認知症フォーラム」等を通じて認知症当事者から学んだ当事者や家族の思いを大切にしたい事業展開の重要性について述べました。

続いて、宮城県東松島市を本拠地に医療環境を提供する北原グループ株式会社 kitahara Medical Strategies International 代表取締役の石橋千賀氏より、「健康寿命が長いまち」をコンセプトに東松島市の住民と共創する拠点施設「いそりの丘」の事例をご紹介いただきました。震災復興をきっかけとしたソーシャル・イノベーションの可能性について、ご報告いただきました。

総合討論では、地域医療介護マネジメントに期待される大学の役割について、活発な議論が行われました。また、指定発言者として東松島市の小山修副市長より、東松島市が本学に期待する役割についてお話いただきました。

最後に本学の加賀谷豊学長が総括と閉会の挨拶を述べ、第1回連携プラットフォーム・シンポジウムを盛会のうちに終わることができました。

## コラム

## まなびのコラム「虫が飛んで見えませんか？」

「青空や白い壁などを見た時に、目の前に虫のようなものが見えて、追い払おう、捕まえようとしたが虫ではなかった」と言われて、眼科を受診される方は結構多くおられます。

これは「飛蚊症」といわれる症状で、眼球の中、瞳孔の後のレンズ（水晶体）と、眼底（網膜）の間にある「硝子体」という透明なゼリー状の部分に、色々な形のにごり（混濁）が入ることが原因で、その影が自覚される症状です。

虫だけでなく、「髪の毛」「雲」「丸い輪」などその形状も様々です。大部分（95%以上）は生理的なもので、通常でも起こりますので、いたづらに心配する必要はありません。

しかし、極わずかですが、網膜剥離の原因となる「網膜裂孔」という穴が開いた時、眼底出血といわれる「硝子体

出血」が起きた時、稀な「ぶどう膜炎」の硝子体の混濁などでも起きますので、飛蚊症を自覚した場合、一度は眼科を受診してみてください。診察すれば、直ぐに状態が判りますので安心出来ると思います。

ただし「急に数が増えた、大きくなった」等変化が強い時は、早急な受診が必要です。飛蚊症の診察では必ず瞳孔を広げる薬を点眼します。平均4～5時間、長いと半日程度まぶしさが続き、すぐには通常の見え方には戻りませんので、ご自身での車の運転は避けて、送迎や他の交通手段での受診をお勧めします。

「裂孔」が見つかった場合でも、網膜剥離を起こさないように「裂孔」の周りをレーザーで焼き付ける「光凝固」という予防的な治療がありますので、心配はいりません。



〔筆者〕

医療福祉学部リハビリテーション学科  
視覚機能学専攻  
教授 浅野 浩一

〔担当〕

眼科学入門、医学総論、視覚機能概論、眼  
疾病学、眼科薬理学など

〔研究テーマ〕

眼科学（白内障、眼感染症）  
眼の加齢変化、環境からの影響

## コラム

## まなびのコラム「ナッジでアクティブライフを可能に」

国民の8割が新型コロナウイルス感染症の影響で運動の機会が減少し、運動不足を感じています。厚労省では、運動習慣のある者とは「1日30分以上の運動を週2回以上実施し、一年以上継続しているもの」とあります。身体活動量が多い人ほど生活習慣病のリスクは低くなり健康に良いとわかっていても、実行するのは難しいものです。

国は健康づくり施策に「ナッジ理論」を活用して、人々が健康に留意した行動を取るよう、行動変容につなげる取り組みを推進しています。「nudge(ナッジ)理論」とは人間の行動心理を利用して、ちょっとしたきっかけで相手により良い選択を促すための行動経済学の理論です。ゾウの親子のイラストがよく用いられ、親のゾウが子どもを鼻で優しく押して、良い行動変容に誘うような、相手を「ひじ

で軽くつく」「そっと後押しする」という意味です。

運動・スポーツの場面でも人をアクティブにする仕掛けとして活用されています。例えば、階段を1段上がればカロリー消費するといった表示で励ましを促したり（写真1）、スマートフォンの健康系アプリで歩数によるポイントを付与したり、図書カード、割引券など報酬を「見える化」して興味や意欲を刺激し、健康づくりを促しています。

私たちの日常生活でも運動しやすい、身体を動かしたくなるような「スニーカー通勤や自転車通勤」、「決まった時間や隙間時間に体操やストレッチ」、「歯磨きや通勤電車でのながら運動」等の簡単な工夫で運動不足を解消することが可能です。皆さんも自分らしいナッジを取り入れた健康で幸福なアクティブライフの一步を踏み出しませんか。



〔写真1〕消費するカロリーとメッセージの表示（福島県棚倉町）



〔写真2〕筆者とバランスボールチェア

〔筆者〕

現代社会学部 現代社会学科  
准教授 森田 清美

〔担当〕

スポーツ実技、レクリエーション  
野外教育（前期、後期）

〔研究テーマ〕

健康福祉、レクリエーション、野外教育

## 大学

## 理学療法学専攻とフェンシング部の合同企画を開催（フェンシング部 監督 齋藤 有）

2023年6月に本学、理学療法学専攻とフェンシング部との合同企画として、部員のメディカルチェック（体力測定）を行いました。リハビリテーション学科理学療法学専攻の教員3人と多数の支援学生に協力いただき、過去2年分のデータも踏まえて測定いただきました。

本学フェンシング部ではトレーニングメニュー、ケガ予防ストレッチの提案などを、理学療法学専攻の教員、学生に日常的にサポートいただいています。このような、本学ならではの連携もあり、選手たちは体力、持久力の向上と体の使い方の知識の増加、さらに入部当初と比べると別人

のような体格や身体のキレとなりました。この充実したサポート体制と環境が、フェンシング競技力のレベルアップにも繋がったと感じています。また、理学療法学専攻の学生も部員との交流により、運動選手のリハビリについて要点を掴む貴重な経験となることを期待しています。今後も各学部と連携し、学生が良い学びの機会を得るイベントを企画して参ります。さらに、フェンシング部として全日本学生選手権、世界大会の良い結果を皆様に報告し、少しでも多くの方々へ勇気を届けられるように、これからも挑戦していきます！今後ともよろしくお願いいたします。



## 大学

## 3年目を迎えて（剣道部 監督 菅野 良信）

強化が始まり3年目。まだ高校での認知度は低く部員募集は苦しんでいるものの新たに2人の部員を加え、今年目標である①全大会入賞②全日本学生大会出場を掲げ、日々練習に励んでおります。（昨年は個人、団体、新人大会すべて入賞。）ただ、現実には甘くはなく5月に行われた選手権大会（個人戦）ではあと一歩のところで出場を逃しましたが、各選手は全力を出し切ったと感じております。

3年生は練習時間が限られるなか、それぞれの課題を発見し、最大の目標である9月の優勝大会（団体）に向け部員一丸となり練習しています。1、2年生は強くなりたいという気迫が強く、頼もしく、来年以降期待が持てる選手達です。何よりも部員全員が明るく、元気で練習していることが誇りに思います。

コロナが落ち着き、試合のルールも少しずつ元に戻って戸惑いもありますが、正しい剣道を身につけ、伝統をつくり、東北に東北文化学園大学ありと言われるように部員と一緒にこれからも励んでまいりたいと思っております。みなさま応援よろしくおねがい致します。



## 専門

## 建築デザイン学科1年生が校外学習に訪問（建築土木科・インテリア科）

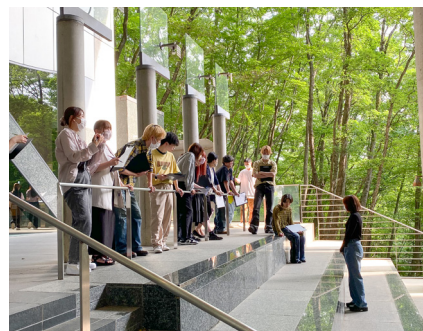
建築土木科1年生・インテリア科1年生の「建築史」の授業で、「宮城県美術館」、「宮城県図書館」の見学に訪問しました。

宮城県美術館は、日本のモダニズム建築の巨匠といわれる前川國男の設計による建物です。広い中庭や白い列柱のあるアプローチが特徴的で、リズムのある空間構成になっています。宮城県にいれば、著名な建築物を体感する

ことも貴重な経験ですので、毎年見学させて頂いています。

宮城県図書館は自然豊かなロケーションの中に宇宙船を思わせるメタリックの外観が特徴の建物で、建築家：原田司氏が同じ頃に設計した京都駅と同様に上部にミラーガラスを使用しています。また、近年では映画の撮影場所としても知られるようになりました。

見学に参加した学生は、大変勉強になったようでした。



## 専門

## 日本秘書クラブ会長賞おめでとう！（医療情報管理科）

2022年11月の秘書検定準1級（合格率39.9%）に合格した医療情報管理科の大友さんですが、この度「日本秘書クラブ会長賞」も受賞しました。

これは、全国2423名の秘書検定準1級の合格者の中から、さらに成績優秀な13名に贈られるものです。

大友さん、おめでとうございます！

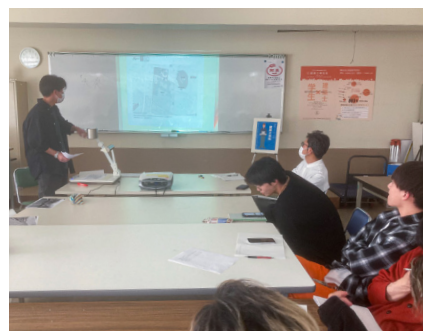


## 専門

## 2年生が卒業制作発表会を行いました（建築土木科）

建築土木科2年生が年度末の卒業制作展へ向けて第一回目となる初心表明発表会を行いました。

発表後はクラスメートからもコメントがあり、たいへん熱の入った発表会となりました。これからコンセプトをさらに固め、模型とプレゼンテーションボードにて作品を表現していきます。完成を楽しみにしてください！



## 幼稚園

### 天文台見学に行ってきました！～星に願いを～（幼稚園型認定こども園友愛幼稚園）

7月7日の七夕を前に、星に興味を持つことをねらいに年長組38人が天文台に行ってきました。プラネタリウムで、織姫、彦星に天の川のお話や火星や木星に土星、夏の大三角形や星座を見ながら宇宙についての楽しいお話を聞きました。また、望遠鏡や宇宙の展示ブースの見学では、宇宙の様々な出来事や展示物に「すごい！！」と目を輝かせながら、興味深く関心を寄せている様子がみられました。

七夕の当日は、たなばたまつりの行事も行いました。

子ども達がたなばた飾りを作り、短冊に素敵な願い事を書いて笹竹に飾りました。「宇宙飛行士になれますように」「お父さんお母さんが元気でいますように」等、子ども達はそれぞれ真剣に星に願いを込めたようです。

たなばたの活動を通して子ども達が夏の星空を眺めながら、また一つ興味や関心が高まり心豊かに育ってほしいと願っています。



## 幼稚園

### 楽しい時間を一緒に（幼保連携型認定こども園久慈幼稚園）

6月27日、青空に薄い雲が広がり、最高の園外保育日和となりました。

年長組は、隣町にある十府ヶ浦公園にバスで出かけ、普段の園庭とは異なるアスレチック遊びを楽しみました。海風を肌を感じながら何度も繰り返し遊ぶ中で、短時間のうちに体の使い方が上手になっていきました。

一方、年中・年少組は、手をつないで巽山公園まで歩いて行きました。15分程度の道のりでしたが、子ども達にとっては小さな冒険だったように思います。「幼稚園と

じお花が咲いてる！」「水が流れてる！」たくさんの発見がありました。公園に到着すると元気に駆け回り、いっぱい笑い、開放感に溢れていました。お昼には、楽しみにしていたお弁当を友だちと見せ合いっこする可愛い姿も見られました。これまで遊んだことのある場所や遊具でも、また違った経験と楽しさを味わうことができたようです。

子ども同士のやり取りや集団での活動の中で、これからも楽しい時間を一緒に過ごして参ります。



## 報告

### 2022年度 寄附芳名一覧

2022年度に学校法人東北文化学園大学に寄附をいただいた企業・個人の方のご芳名を本学WEBに掲載させていただいております。

学校法人東北文化学園大学は、文部科学省より「税額控除対象法人※」および「特定公益増進法人」の認可を受けており、本法人へのご寄付は個人によるご寄付の場合、所得税の「税額控除」または「所得控除」のいずれかを選択いただけます。※2022年6月20日以降にご寄付いただいた方が対象となります。



東北文化学園大学  
寄附金ページ



私は女性就業や家族の中の役割分担について研究をしています。どのような女性が仕事を辞めるのか、子どもが生まれる前後で夫婦の家事分担はどのように変わるのかなどのテーマについて、2つの視点から考えています。

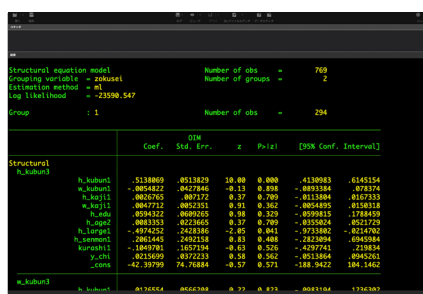
ひとつめは『自分以外の家族の影響』です。子どもの人数や年齢はもちろんですが、着目するのは配偶者です。例えば夫が長時間働いていたり、家事育児をほとんどやらなかったりすると、妻が家事や育児を担わざるをえなくなり、自分の仕事を辞めてしまうことが考えられます。

ふたつめは『職場の影響』です。休みの取りやすさや労働時間などは個人で自由に決められるものではなく、職場の制度に依存しています。最近は夫婦共に働く家庭が増えているので、夫と妻それぞれの勤め先の制度や、職場の様

子などに着目します。例えば夫の上司が「育児は女性がするもの」という考えだった場合、夫が育児休暇を取得することは困難だと考えられます。

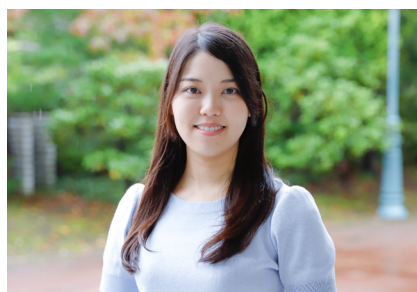
こうした視点を含めながらテーマについて考えていくのですが、アンケートを用いて数量的なデータを集め、統計学の知識を使っていきます。使用するデータにも特徴があります。夫婦が互いにどのような影響をもつか知るために同じ質問を夫と妻の双方に尋ねたり、出産の前後で行動がどのように変化したか知るために同じ人を何年も追跡したりします。

学生みなさんにはデータから社会問題を読み取ったり、身近な家族について考え直したりするスキルを身につけてもらいたいと考えています。



|            | Coef.     | Std. Err. | z     | P> z  | [95% Conf. Interval] |
|------------|-----------|-----------|-------|-------|----------------------|
| Structural |           |           |       |       |                      |
| h_kidun1   | .5138809  | .0513829  | 10.00 | 0.000 | -.4130983 .6143154   |
| h_kidun2   | -.0054822 | .0427846  | -0.13 | 0.898 | -.0831384 .073774    |
| h_kidun3   | -.0052705 | .0497272  | -0.10 | 0.920 | -.0811084 .0715733   |
| h_kidun4   | -.0047722 | .0402231  | -0.12 | 0.902 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun5   | -.0046222 | .0400265  | -0.12 | 0.903 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun6   | -.0043353 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun7   | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun8   | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun9   | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun10  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun11  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun12  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun13  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun14  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun15  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun16  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun17  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun18  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun19  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |
| h_kidun20  | -.0042622 | .0422365  | -0.10 | 0.920 | -.0804895 .0718318   |

データ分析に欠かせない統計解析ソフト



現代社会学科 助教 田中 茜



### ご寄附のお願い

学校法人東北文化学園大学は、2028年の創立50周年に向け、「輝ける者を育む」を建学の精神として、地域に貢献する人材を育成しています。

これまで、この建学の精神を具現化するため、東北文化学園大学、東北文化学園専門学校、幼保連携型認定こども園久慈幼稚園及び友愛幼稚園では、学修環境・課外活動の施設整備の充実、学生生活への支援など、さまざまな事業に取り組んで参りました。特に、昨今の経済状況による家計収入減少により奨学金に頼らざるを得ない世帯も多く、さらに支援体制を充実していく必要があると考えております。

つきましては、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

寄附金 WEB



本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。  
また、記事掲載のご要望等あればご連絡ください。

### ■連絡先

学校法人東北文化学園大学 総務部総務課  
〒981-8550 宮城県仙台市青葉区国見 6丁目45-1  
TEL 022-233-3330 (代表) FAX 022-233-9875  
メール pr@office.tbgu.ac.jp